



2010年理系(甲)第1問

- 1 1から5までの自然数を1列に並べる。どの並べかたも同様の確からしさで起こるものとする。このとき1番目と2番目と3番目の数の和と、3番目と4番目と5番目の数の和が等しくなる確率を求めよ。ただし、各並べかたにおいて、それぞれの数字は重複なく1度ずつ用いるものとする。